

只見学田子倉湖ボート散策体験実施案

1 ねらい

田子倉湖を小型ボートに乗って観察し、ブナ林や浅草岳などの景観を楽しむことで、只見のよさ、自然の美しさに気付くとともに、只見町が海とつながっていることに気付くことができるようにする。

2 日 時 令和2年5月29日（金） （1～6年：行事3時間）

3 場 所 田子倉湖

4 日 程・参加者

中学年 (1～3校時)	低学年 (2～4校時)	高学年 (2～4校時)
3年：11名 4年：5名 引率：3名 (教頭、山田、酒井) 計：19名	1年：7名 2年：2名 引率：3名 (長澤、徳永、根本) 計：12名	5年：11名 6年：10名 引率：4名 (校長、千葉、加藤、横山) 計：25名
8：30 学校発 8：50 田子倉湖着 9：00 準備・注意点確認 9：15～ボート散策 10：30 田子倉湖発 10：50 学校着予定	9：20 学校発 9：40 田子倉湖着 9：50 準備・注意点確認 10：05～ボート散策 11：20 田子倉湖発 11：40 学校着予定	10：00 学校発 10：20 田子倉湖着 10：30 準備・注意点確認 10：45～ボート散策 12：00 田子倉湖発 12：20 学校着

5 服装・持ち物

【服装】 学校ジャージ 紅白帽子 マスク

6 確認事項

- 水の循環について気付かせ、考えさせる。
 - ・「田子倉ダムの水はどこから来ているの？」
 - 教師は答えを言わず、子どもたちに考えさせる、気づかせるためのしかけを。
 - …「海の水が→蒸発して雲となり→雨が降り（冬は雪となって）→山に蓄えられる（雪は山を崩しながら解け出す）→ダム・川へ流れる→川の水はこの海へ？」
 - 「海を意識した」学習になるよう活動中も海を意識した言葉かけをしていく。
- 水の多様性について考えさせる。生活を豊かにする反面、危険性もあることを気付かせる。
- 目的意識を持って散策ができるよう、「事前指導→見学・体験→ふり返り・まとめ」の流れで進める。
- 事前指導について・・・27日（水）9：50～10：35（特別時程）※多目的ホール
 - 前半：全体で持ち物や注意事項等を確認（担当：徳永）
 - 後半：ブロックごとに田子倉湖に見られる自然について予備知識を持たせる。
- 事後指導について・・・低学年は4時間目、中高学年は5時間目。
 - ブロックごとに田子倉湖散策を通して気付いたことをまとめる。
- 雨天の場合、6/1（月）を予備日とする。
- モーターボートおよびガイドの手配については70,000円
(ボート1艘あたり14,000円×5艘)で目黒邦友さんに依頼する。（担当：教頭）
- バスについてはジオサイクルに依頼する。（担当：教頭）